

# さんま通信

春

厚生中央病院だより 第61号 2020年



## 新病院長のご挨拶

病院長 池田 幸穂



2020年（令和2年）4月より、当院の病院長に着任致しました池田幸穂と申します。当院は全国土木建築国民健康保険組合の唯一の直営病院として昭和34年に設立された急性期機能を持つ地域中核病院です。その歴史ある病院の運営を任される責任の重さを感じ身の引き締まる思いであり、地域の皆様への良質な医療の提供など、職務をしっかりと果たしてまいりたいと思います。

前職である東京医科大学八王子医療センターの病院長職の就任期間は、高度急性期病院として大学病院の機能である「診療」・「教育」・「研究」の推進を実践してまいりましたが、昨今の厳しい医療事情を勘案しますと、当院においては「医療経営・医療経済」の重要性を認識したうえでの運営が必要と感じます。健全な経営基盤の構築がなされて初めて安全で質の高い医療が提供できるものと考えます。

前職時代から私が大事にしている言葉は、「積小致大」です。小さい地味な努力を愚直に毎日継続して積み重ねることにより、より大きな成果・結果につなげることが可能になるということです。この言葉を胸に、地域の皆様や組合被保険者の皆様のために、当院のロゴマークに示されている地域への貢献・ぬくもり・安心の理念を念頭において、近隣の医療機関とも密に連携し、活発な病院運営を展開してまいりたいと思いますので、ご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

### 目次 contents

新病院長のご挨拶…………… 1

地域包括ケア病棟のご紹介…………… 2

コンチネンス外来はじめました …… 4



目黒で野駈けをしていた殿様が、初めて召しあがる“さんま”にいたく感激。お城で再び食べてみたが、美味しくない。即座に『さんまは目黒に限る！』当院も“目黒のさんま”でありたいとの願いを込めて。

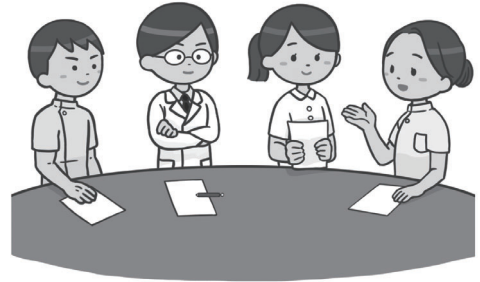
# 地域包括ケア病棟のご紹介

## 地域包括ケアシステムをご存知ですか？

団塊の世代が75歳以上になる2025年を目途に、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体的に提供される体制を構築しようというのが、地域包括ケアシステムです。

## 5階北病棟は地域包括ケア病棟です。

地域包括ケア病棟は、地域包括ケアシステムを支える病棟として、2014年に開設されました。地域包括ケア病棟といっても、特徴的な設備や何かに特化した機能を持ち合わせているわけではありません。一般に病院



院はあくまでも治療の場であり、治療の完了は必ずしも「入院前と同じになる」ことを意味するわけではありません。治療後に必要な療養は、退院してから行うことが心身の回復にも大切なことです。しかし、退院後の生活を考えて心配になる方も少なくはありません。ご自宅や施設などへの生活復帰ができるよう退院支援を密に行うのが地域包括ケア病棟です。

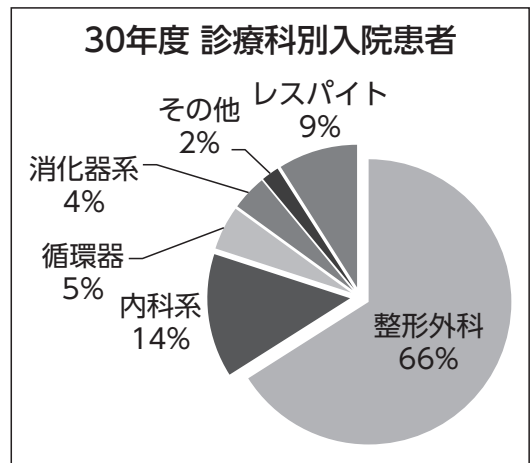
地域包括ケア病棟には、理学療法士・ソーシャルワーカー・在宅復帰支援看護師が専従しています。病棟に様々な職種のスタッフが所属しているため、院外との連携も密に行い、施設職員やケアマネージャーなどとの情報提供や退院後に必要となる社会資源の投入など、切れ目なく継続することができています。

また、退院に向けて病状の安定を保ちながら、個別のリハビリ以外にも、ベッド上での生活を短くしたり、退院後の運動習慣をつけるためにも、デイルームでの集団リハビリを実施しています。

## 5北病棟入院の対象は？

急性期治療中の方はお受けできません。治療終了後であれば、診療科は問いません。

- ・手術後に継続したリハビリが必要な方
- ・住宅改修や環境調整の準備が必要な方
- ・おむつ交換、食事介助、自己注射などの手技習得練習



- ・施設などへの入所に向けた準備中の方
- ・在宅療養中でレスパイト（介護する人の事情で短期的に入院すること）も1週間程度の受け入れをしています。

### 退院後の安心・安全な生活のために

退院後の生活にあわせてリハビリを取り入れています。「手術をしたから料理ができるか心配」「洗濯物が干せるかしら」などの家事動作練習や「手すりはどこにつけたらよい?」「家の段差、大丈夫かな?」など、自宅環境に不安がある際は、退院前に理学療法士が家屋調査に伺い検討・提案をさせていただきます。「薬を飲み忘



れてしまう」「薬の種類が多過ぎて。。。」など薬の疑問は、病棟所属の薬剤師がいつでもお答えいたします。退院後の生活でのお困り事や福祉用具の相談など、どんな些細なことでもご相談ください。専門スタッフとみんなで解決しませんか?



デイルームでの集団体操の様子

# コンチネンス外来 はじめました

## コンチネンスって？

排泄がうまくコントロールされている状態を表す言葉です。  
尿漏れや便秘、下痢などの排尿や排便についての毎日の困りごとをできるだけ改善し、  
予防することをコンチネンスケアといいます。  
できる限り自分で排泄を完結できるように、ご相談、ケアの提案をする外来です。  
(診断、投薬は出来ません。必要な時は他の外来に受診いただくこともあります。  
また、一回の受診では問題が解決しない場合があります。)

## 相談できること

- \*尿がもれる、トイレに間に合わない
- \*尿が近くて困る
- \*夜中に何度もトイレに起きる
- \*尿ががまんできない

## 外来で行うこと

- \*問診（お困りの内容についてお話を伺います）
- \*アセスメント（何が問題か？解決の糸口を探します  
診断の必要がある場合、ここで受診していただきます）
- \*生活指導
- \*行動療法指導（骨盤底筋トレーニングなど）

水曜日の午後1:20～.2:20～.3:20～  
1回45分 5000円（自費、税別）

完全予約制

03-3716-8124

平日9:00～16:00にお電話下さい

## 担当スタッフ

- \*医師:黄(泌尿器科)
- \*理学療法:井上  
(ピフィラテス認定インストラクター)
- \*看護師:若松(認定排泄ケア専門員)

集団指導型の体操教室も行っています  
詳しくは病院ホームページをご覧ください

